



恕の心



令和3年4月19日 校長 廣瀬 真樹

111名の仲間を新たに迎え、令和3年度がスタート

4月6日(火)午後1時半より令和3年度入学式が本校体育館で行われました。澤村PTA代表が見守る中、大きな声で返事をし、111名が丸中生の仲間入りをしました。式では在校生を代表して■■■■さんが歓迎の言葉を、新入生を代表して■■■■さんが誓いの言葉を力強く述べてくれました。



式辞の中で、中学校とはどんなところか、ひと言でいうと「大人になるための学校」である・・・と2度繰り返し伝えました。この言葉を後日あった学年集会でもお話しさせていただきましたが、何人もの新入生が覚えていてくれました。そして大人になるための学校に向けて心がけてほしいことを2つ挙げさせてもらいました。一つは「新しい自分を作る」ということです。過去の友達関係や、いろいろな失敗にこだわらず、友達のいいところ探しのできる人を目指してほしいという事です。2つ目は「恕の心を持つ」ということです。恕の心とは他人を認め、許し、思いやる心です。人として大切なこの心を育てていくことを中学校生活の中で意識してほしいと話しました。

いつも言いますが、新入生に向けての言葉は、もちろん在校生に向けての言葉でもあります。在校生のこの1年の成長ぶりは始業式でもお話しした通りです。当たり前前の礼儀を当たり前前にしっかりできる姿は先輩として本当に「カッコいい」姿です。いいスタート切つてこの令和3年度を最高の年にしていきましょう。皆さんの活躍を大いに期待したいと思います。

校長コラム

ポジティブ入部の勧め

以前お話しした北海道の友人のブログにポジティブ入部の勧めが書いてありました。彼いわく目の前には「嬉しい・楽しいポジティブなもの」と「つらい・嫌だなどのネガティブなもの」は同じようにあるもの。

目の前の「ポジティブ」の素と「ネガティブ」の素・・・あなたはどちらが気になるか？

例えば、友達や先輩後輩の話をするとき、「あいつすごいよね！(尊敬)」って話じゃなく「あいつ××じゃね？(悪口)」「あいつムカつく」が多い人・・・これって言う方も、聞いている方も心はすさむし、心のエネルギーが下がり誰も幸せにはなれません。ポジティブな事を見る習慣、小さなプラス、相手のいいこと探しをできる心の習慣をもつことの大事さを考えさせられたブログでした。 あなたはどうですか？